なくそう学生の交通事故

蕪城小学校 府中屋 智衣

知っていましたか？高齢者よりも、特に学生の交通事故が多いことを。私も最初は、高齢者の事故の方が絶対に多いと思っていました。なぜなら、テレビでよく高齢者の事故について放送されているのをよく見るからです。調べてみたところ、学生の交通事故で亡くなった人や、けがをした人は減少傾向ではありましたが、依然として多くの死傷者が出ていることが分かりました。私は、これからの日本を担う大切な命を守っていくことが重要だと思い、交通事故を減らすためにはどんなことが大切なのかを考えてみました。

内閣府の資料をもとに、学生の交通事故で亡くなった人やけがをした人を年れい別に見たとき、歩行中の事故は、小学1年生が最も多いことが分かりました。なんとこれは、6年生の約8倍にもなっています。私はとても驚きました。同時に、低学年には、まだ交通事故の恐ろしさや防ぎ方が上手く伝わっていないのだと感じました。

私は今、通学班の班長をしています。私が低学年の時、高学年の人達に、「用水のような危ない場所や、車に気をつけてね。」と優しく教えてもらったことを覚えています。私の集団には2人の1年生がいます。ですが、1年生が歩くペースに合わせられていないことや、あまり気にかけてあげられないことがあります。知らない間に事故にあってしまったらとても悲しいので、改めて気をひきしめて、班長として声かけをしようと思いました。

また、毎日ボランティアで来てくださる見守り隊の方にはとても感謝しています。毎日私たちの安全を見てくださり、安心して登校できるように考えて行動しようと思いました。

私は、交通事故をなくすためには、交通安全に関する正しい知識を身につけ、交通事故の危険性を理解することが大切だと思いました。そしてどんなときでも「自分は大丈夫」ではなく、「自分も事故にあうかもしれない」と、一人一人が心にとめて行動することで、事故を減らすことにつながると思います。